

# 一般社団法人東京国際金融機構(FinCity.Tokyo) 2026年度ホームページ管理運用等委託事業 企画提案依頼書

2026年2月13日  
FinCity.Tokyo事務局

# 1 業務実施の背景および理由

当機構(FinCity.Tokyo)は、創設以来、東京の金融都市としての魅力を発信するための基幹ツールとして公式ホームページを運用してきた。2025年度にはデザインのリニューアル、SEO対策記事の導入、検索性・操作性・視認性の向上を図ったが、依然として以下の課題に直面している。

- ・ **情報発信の即時性と質の不足**: 海外金融関係者に対し、東京の強みを効果的に訴求するには、タイムリーなコンテンツ発信と高品質なネイティブによる同時翻訳・掲載が不可欠であるが、その体制が十分に構築できていない。
- ・ **デジタル広告の活用不足と認知拡大の停滞**: 現状、デジタル広告を効果的に運用し、戦略的にターゲット(海外金融・経済関係者)をホームページやSNSへ誘導する体制が未整備である。知名度の向上および新規開拓を加速させるため、広告を通じたインプレッション数の増加と即時性のある情報拡散が不可欠となっている。
- ・ **事務局の業務負担**: 翻訳業務やサイト運用がシステム化・最適化されておらず、事務局の大きな負担となっている。
- ・ **最新技術への対応不足**: AI検索において、当機構の情報が正しく、かつ優先的に引用されるための構造的な最適化が求められている。
- ・ **一方的な情報発信の脱却**: 現状のサイトは従来型ホームページと同様、一方的な情報発信形態に留まっており、双方向性や会員交流の場の創出といった、一歩進んだ改修が検討できていない。

※当機構HPのURL

<https://fincity.tokyo/>(日本語)    <https://fincity.tokyo/en/>(英語)

## 2 今後の展望(1/2)

本委託業務を通じ、単なる「情報の置き場」としてのウェブサイトから、世界中の金融・経済関係者が集い、東京での金融活動を誘発する「戦略的プロモーションプラットフォーム」への進化を目指す。

- **「外国人目線」による戦略的コンテンツ展開：**単なる日本語記事の翻訳に留まらず、欧米、アジア、中東等の海外機関投資家、資産運用業者、Fintech企業など、金融関係者の関心を引くテーマ(東京の市場特性、規制緩和、生活環境等)を独自に抽出する。英語ネイティブの視点による高品質なライティングと、取材・撮影を伴うオリジナリティの高い記事制作を行うことで、東京の金融都市としてのブランド価値を定着させる。
- **SEO及びAI検索への最適化：**当機構ウェブサイトに掲載された記事が、最新のAI検索エンジンにより「信頼できる一次情報源」として優先的に引用されるよう、構造的な記事制作を行う。具体的には、金融専門用語の適切な選定やメタデータの最適化、情報の網羅性を担保することで、グローバルな検索流入を最大化させる。
- **デジタルプロモーションとの相乗効果：**制作した高品質な記事を軸に、デジタル広告(SNS広告等)を戦略的に展開する。ターゲット層へダイレクトに情報を届けることで、インプレッション数の増加を図るだけでなく、SNS上での拡散を狙った視覚的効果の高いクリエイティブを連動させ、FinCity.Tokyoのグローバルな認知度を飛躍的に向上させる。

## 2 今後の展望(2/2)

- **エンゲージメントの創出と双方向性の構築:** ユーザーが金融知識を深め、自ら東京の魅力を発信したくなるような「共感を生むコンテンツ」を拡充する。将来的には一方的な発信を脱却し、会員間の交流やフィードバックを促す機能を視野に入れた、双方向型のプラットフォーム構築を目指す。
- **運用プロセスの高度化とコンプライアンスの徹底:** CMSの機能強化により事務局の更新フローを最適化する。同時に、GDPR(欧州一般データ保護規則)をはじめとする諸外国の個人情報保護法および国内法を厳格に遵守し、グローバル基準の安全性と透明性を備えた運営体制を確立する。

### 3 業務の目的・ゴール(1/2)

「官民連携の国際金融プロモーション組織」として、海外金融関係者(投資家、金融機関、Fintech企業等)に対し、東京の魅力や当機構の活動内容が「最も信頼できる情報源」として、適時適切かつ効果的に届いている状態を構築する。

それにより、当機構及び東京都の各種取組の認知率向上、賛同者の増加につなげ、最終的には国際的な資金・人材・技術・情報が東京へ集積する流れを創出する。

#### 1. グローバル・プロモーションの高度化と認知拡大

- a. 欧米、アジア、中東等の投資家や機関投資家、金融機関、Fintech企業等に対し、外国人目線で最適化されたコンテンツを届けることで、東京の魅力や強みを効果的に訴求する。
- b. デジタル広告やSNSを戦略的に活用し、インプレッション数およびホームページ閲覧数を飛躍的に向上させ、FinCity.Tokyoの国際的な知名度とブランドイメージを確立する。

#### 2. AI検索・SEOにおける「信頼される情報源」としての地位確立

- a. AI検索エンジンや検索エンジン(Google等)に、正しく信頼できる情報源として優先的に引用・採用されるサイト構造と密度の濃いコンテンツを実現する。
- b. 単なるキーワード対策に留まらず、AIが内容を深く理解し、利用者の疑問を解消できる情報基盤を構築する。

### 3 業務の目的・ゴール(2/2)

#### 3. コンプライアンスを遵守した安全な運営基盤の構築

- a. GDPR(欧州一般データ保護規則)や国内の個人情報保護法等の法令を厳格に遵守し、グローバル基準の安全性と透明性を備えたサイト運営を行う。
- b. 東京都のポリシーに準拠した強固なセキュリティ対策、バックアップ体制、24時間365日の保守体制により、可用性と信頼性を確保する。

#### 4. 運用効率の最適化と事務局負担の軽減

- a. CMSの機能強化や翻訳業務の外部委託体制の構築により、適時適切なタイミングでの情報発信を可能にするとともに、事務局の業務フローを最適化・効率化する。
- b. ネイティブ翻訳や独自の取材記事制作をシームレスに行う体制を整え、イベント等におけるリアルタイムの情報発信力を強化する。

## 4 契約の概要

### 【委託期間・金額等】

- 委託期間：契約締結日の翌日～2027年3月31日
- 委託金額：4,250万円(税込) ※全ての委託業務内容に係る経費が含まれる。
- 選定方法：企画競争入札(プロポーザル方式)
- 評価：提案内容及び経費積算書の内容を総合的に判断し、契約候補者を選定
- 納品物等：契約期間満了までに業務を完了し、完了報告書等を提出する。
- 支払方法：当機構による納品物の確認完了後、速やかに支払う。

### 【審査方法について】

- 「提案書」を3月6日(金)17:00までに当機構事務局宛に提出すること
- 別途日時を指定する審査会において、提案内容等に関する質疑応答を実施する。
- 提案書の形式:PDF形式
- 提出先: [contact@fincity.tokyo](mailto:contact@fincity.tokyo)

## 5 提案要件

「提案書」には、以下の内容を含めること。

1. 委託金額(経費積算書により、見積総金額について項目ごとの内訳を示すこと)
2. 「当機構HP管理運営等計画書」

「当機構HP管理運営等計画書」には、以下の項目について具体的かつ実現可能な内容を記載すること。

### (1)戦略的翻訳・校閲体制、コンテンツ制作計画

ネイティブ翻訳体制、新規記事作成、SNS運用・広告連携

### (2)AI/SEO対策、ホームページ更新対応等

AI/SEO対策の最適化、HP内容修正及び更新対応

### (3)システム保守・運用管理計画

サーバー・システム保守体制、セキュリティ対策、コンプライアンス管理

### (4)体制、スケジュール及び進行管理

体制、記事作成・管理運用等スケジュール



## 6 提案を求める事項(1/4)

### (1) 戦略的翻訳・コンテンツ制作計画

#### ● ネイティブ翻訳・校閲体制

英語を母国語とする翻訳者および、作成者とは別のネイティブ校閲者による高品質な翻訳体制を提案すること。

(提案にあたっての条件)

- 英語ネイティブによる翻訳・校閲のワークフロー(年間約18万字想定)を示すこと。
- 翻訳担当の母国語、主な実績を提示すること。
- 委託者特有の用語に対する注釈・用語一覧の作成管理手法を示すこと。
- 翻訳した記事等のコンテンツについて、編集可能なデータ納品手法を示すこと。
- 翻訳した記事等のコンテンツをホームページに掲載する際の、CMS上での効率的な更新作業及び迅速な対応方法を示すこと。

#### ● 新規記事作成

「国際金融都市・東京」の実現を目的とし、欧米、アジア、中東等の機関投資家、資産運用会社、銀行、証券、フィンテック企業、政府関係者等のステークホルダーが興味を引く英語記事のテーマと概要を提案すること。

(提案にあたっての条件)

- 記事は年間6本以上、1本最大1,200～1,500words程度とすること。
- 独自の取材、写真撮影、外国人目線でのライティング手法を示すこと。
- 納品時に各記事の日本語訳を添付する運用フローを示すこと。
- 作成した記事をホームページに掲載する際の、CMS上での効率的な更新作業の方法、フロー等を示すこと。

## 6 提案を求める事項(2/4)

### (1) 戦略的翻訳・コンテンツ制作計画

#### ● SNS運用・広告連携

日英両言語による積極的なSNS発信計画及び記事広告やイベント告知をターゲット層(欧米、アジア、中東等の機関投資家、資産運用会社、銀行、証券、フィンテック企業、政府関係者等)へ効果的に届けるデジタル広告運用戦略を提案すること。

(提案にあたっての条件)

- SNSの発信頻度は週2回程度とすること(効果的な発信であれば、回数はこの限りではない)
- SNSの発信について、効率的な発信作業の方法、フロー等を示すこと。
- 活用するデジタル広告は2媒体程度とし、想定されるクリック数、インプレッション数等を示すこと。

### (2) AI/SEO対策、ホームページ更新対応等

#### ● AI/SEO対策の最適化

AI検索エンジンや検索エンジン(Google等)に、正しく信頼できる情報源として優先的に引用・採用されるサイト構造を踏まえたページ作成や、SEO順位向上のためのソース、CMS運用等を提案すること。

(提案にあたっての条件)

- 効率的な更新・対策作業の方策を合わせて示すこと。
- 運用の具体策(メタタグの設定等)を示すこと。

#### ● ホームページ内容修正及び更新対応

ホームページの内容が常に最新版になるよう、FCTから修正等依頼があった場合に迅速に対応できるよう体制及びその方法を提案すること。

(提案にあたっての条件)

- 受託者側での効率的なCMS及び固定ページの更新作業方法、修正方法を示すこと。
- 修正依頼等への迅速な対応方法及びそのための人員確保の状況、体制を示すこと。

## 6 提案を求める事項(3/4)

### (3) システム保守・運用管理計画

- サーバー・システム保守体制

サーバー・システムの保守体制について提案すること。

(提案にあたっての条件)

- サービス稼働率99%以上を維持し、24時間365日の安定稼働および24時間受付が可能な体制を示すこと。
- 1日1回のバックアップ実施、障害発生時に前日時点までのデータを確実に回復することが可能な体制を示すこと。

- セキュリティ対策

ホームページの脆弱性対策を提案すること。

(提案にあたっての条件)

- 東京都公式ホームページ作成に関する統一基準やセキュリティポリシー、「安全なウェブサイトの作り方」を十分に踏まえた対策を示すこと。
- 不正アクセス防止措置、ウイルス対策ソフトの導入、および半年間のログ保持を含む履歴管理に関する具体的手法を示すこと。

- コンプライアンス管理

コンプライアンス管理の方策について提案すること

(提案にあたっての条件)

- GDPR(欧州一般データ保護規則)や個人情報保護等の法令順守に関するアップデートおよび管理体制を示すこと。

## 6 提案を求める事項(4/4)

### (4) 体制、スケジュール及び進行管理

- 体制

ホームページの管理運用全般に対応する体制を提案すること。

(提案にあたっての条件)

- 当機構との直接の窓口となり、当機構の性質を理解したコーディネーターを1名設置すること。
- その他、マネージャー1名及び配下の体制を示すこと。

- 記事作成・管理運用等スケジュール

ホームページ・SNS掲載記事作成、ホームページ管理運用等全般に関する進行管理のスケジュールを提案すること

(提案にあたっての条件)

- 2026年4月1日から2027年3月31日までの計画を示すこと。

### (5) その他、提案にあたっての条件

- コンテンツ公開日

新規に作成した記事等のコンテンツの公開日は、本委託の期間内とし、当機構と別途協議すること。なお、作成が完了したコンテンツ、ページから順次公開するなど、段階的な公開を行うことを想定している。

- 開発言語や手法

以下のとおりとすること。

・プログラミング言語: PHP、HTML、CSS ・データベース: MySQL ・その他: 新HPの機能に準拠、ただし最新版とする

- 運用・保守

現在、当機構が別途委託している保守運用の内容は変更せず、さらに必要な提案を行うこと。

- サーバー

現在、当機構が別途契約しているサーバーは変更しないことを前提に運用保守を引き継ぎ、さらに必要な提案を行うこと。

## 7 その他委託事項

ホームページのデザイン等について、改善対応の必要が生じた場合は、本委託の範囲内で以下のとおり対応すること。なお、これにより難しい場合は、FCTに協議すること。

- **デザイン・ビジュアル改善案の提案、改修の実施**

ホームページ訪問者に効果的に訴求するためのサイトデザインおよびビジュアルについて、2案以上提案し、FCTと協議の上、改修を実施すること。

（提案にあたっての条件）

東京の国際金融都市としてのブランドを強化することを企図したデザイン案を示すこと。

- **UI/UXおよびアクセシビリティ改善案の提案、改修の実施**

訪問者が求める情報へ容易かつ迅速にアクセスできるようにするためのレイアウト改修案を提案し、FCTと協議の上、改修を実施すること。

（提案にあたっての条件）

ホームページ訪問者の視認性、操作性、検索性の向上に向けたレイアウト案を示すこと。

## 8 業務履行にあたっての留意点(1/2)

- 本事業の企画・運営にあたっては、無理のないスケジュールを立案の上、適切な進行管理を行い、期限を遵守するとともに、確実に業務を執行すること。
- 本事業を円滑に推進するため、事業の実施方針や進め方、技術的対応等について、当機構と十分に調整を図るとともに、当機構から申し出があった場合には、速やかに本委託業務の進捗状況を報告すること。
- 契約金額には本事業の業務の履行にかかる一切の費用を含むものとし、金額面で実現可能性のない提案は行わないこと。
- 本事業の提案・実施に当たり知りえた情報(本仕様書の内容及び中期事業計画の内容を含むがこれらに限られない)については、他の目的で使用し又は第三者に開示しもしくは漏洩してはならないものとする。本事業終了後も同様の取扱いとする。

## 8 業務履行にあたっての留意点(2/2)

- 契約候補者の選定にあたっては、提出された提案書を基に書面審査を行い、その後必要に応じて当機構の指定する企業について審査会を実施する。審査会において質疑応答を行い、提案内容、提案価格等を総合的に勘案して契約候補者を決定する。
- 本事業は、当機構の令和8年3月の理事会にて、当機構の事業計画が承認され、かつ東京都の令和8年度歳入歳出予算が、令和8年3月31日までに東京都議会で可決された場合において、令和8年4月1日に確定させるものとする。
- 今後のスケジュールについては、以下のとおりとする。なお、スケジュールは現時点のものであり、変更する可能性がある。

### 【今後のスケジュール】

2月13日(金)～3月6日(金)17時:RFP公示

3月6日(金)17時:提案書等提出期限

3月9日(月)～3月23日(月):契約候補者の選定

4月1日(水):契約締結

## 9 権利の帰属

- この仕様書に基づく業務により作成された作成物に係る著作権の全ては、当機構に帰属するものとする。受託者は、当機構及びその指定する者に対して成果物の著作権者人格権の行使をしないこと。
- 作成等に当たり、第三者の著作物を利用する場合には、当該第三者から受託者が適切な許諾を得ておくこと。なお、委託完了後も当機構が無償で著作物を利用できるようにすること。
- 作成等に当たり、他者の著作権を含む知的財産権、肖像権その他のいかなる権利も侵害しないこと。万一他者の権利に抵触した場合は、受託者の責任と費用をもって適正に処理すること。

<問合せ先>

一般社団法人東京国際金融機構(FinCity.Tokyo)

メール:contact@fincity.tokyo



## 10 審査要領

1. 別紙記載の審査項目について、審査員が採点を行う。
2. 各審査員は、採点の合計得点が最も高い提案者に投票を行い、得票数が最も多い提案者を契約候補者とする。
3. 得票数が最も多い提案者が複数あるときは、全審査員の採点を合計した総合計得点が最も高い提案者を契約候補者とする。
4. 上記3の場合で、総合計得点も同一の提案者が複数あるときは、当該提案者の中から、審査委員長が契約候補者を選定する。
5. 契約候補者と契約できない事由が生じたとき(辞退など)は、当該候補者を除く提案者について、上記と同様の投票を行い、得票数が最も多い提案者を契約候補者とする。
6. 審査員の採点の平均が「2」未満の審査項目がある提案者は、契約候補者とししない。提案者が一者のみの場合も同様とする。

契約候補者選定にあたって評価する事項、点数等

提案事項 番号	評価項目	評価の着眼点	ウェイト	配点
-	1. 業務の理解度・実績	本業務の背景(海外への魅力発信・AI検索対応等)を深く理解し、金融分野での制作実績や知見を有しているか	×3	15
(1)	2. 戦略的翻訳・校閲体制	英語ネイティブによる翻訳・校閲体制が具体化され、金融専門用語への対応や質の高い成果物を担保できるか	×4	20
(1)	3. 新規記事作成の戦略性	外国人目線で、海外投資家やFintech企業を惹きつける独自のテーマ・取材手法が提案されているか	×5	25
(1)	4. SNS運用・広告連携	日英SNS発信とデジタル広告を効果的に連動させ、認知向上およびサイトへの誘導を最大化できるか	×3	15
(2)	5. AI検索・SEO対策	AI検索エンジンの引用構造やSEO対策について、技術的な具体性と実現可能性があるか	×1	5
(2)	6. CMS機能強化・効率化	事務局の更新作業を最適化し、運用負荷を軽減するための具体的な提案があるか	×1	5
(3)	7. システム保守・管理運用	24時間365日の保守体制、強固なセキュリティ、GDPR等の法令遵守体制が十分か	×2	10
(4)	8. 実施体制・費用対効果	適切なPM・窓口の配置、および予算内で最大限の効果を発揮できる積算となっているか、経費面から実現可能性のある提案か	×1	5
			合計	100

## 11 親族関係に関する申告の要請

- 貴社の役員又は役員以外で本件への応募の意思決定に関与した方に、一般社団法人東京国際金融機構の役員(理事及び監事)との親族関係があるときは、契約候補者となった場合、その旨の申告をお願いいたします。
- 申告すべき「親族」の範囲は「配偶者、生計を同一とする者(未成年者の子を含む)」を最低限とし、それ以外の親族についても、知りうる限りにおいて該当があれば申告いただきます。
- 親族関係の有無を理由として、審査において不利益な取扱いをすることはありません。